



ふじの実

<教育目標>
○思いやりの心を持ち、協力し合う子
○深く考え、工夫して学習に取り組む子
○進んで体をきたえ、ねばり強くやりぬく子
〒942-0061上越市大字春日新田1274
TEL025-543-4256, 543-4172
FAX 025-543-0089

挑戦する子どもに

校長 大山 賢一

子どもは、日々の教育活動を通して成長しています。

ひまわりとわかばの学級では、国立妙高青少年自然の家で「雪と遊ぼう」をテーマに親子活動を行いました。スキーをするときは、おこらないこととあきらめないことを約束しました。5年生以下は歩くスキー、6年生はアルペンスキーにチャレンジしました。子どもたちは、うまくできなくて困ったり、疲れたりしましたが、最後まであきらめずに頑張りました。一緒に参加した家族の皆さんは、転んでも立ち上がってまた頑張ろうとする子どもの姿に感動していました。

毎日校舎内の各所で、子どもたちは縄跳びの練習をしています。廊下で練習していた子どもが、「二重とびができるようになったよ。」と声をかけてきました。

3年生は、校内大縄大会に向けて隙間の時間を縫って、練習をしてきました。学級ごとに跳ぶ回数を増やすにはどうすればよいのか相談したり、友達と励まし合ったりしました。本番では、どの学級も気合十分で、元気なかけ声が体育館に響き渡りました。どの学級も、練習時の回数よりも多く跳ぶことができました。

5年生は、ミシンでナップザック作りに挑戦しました。上糸のかけ方や下糸の出し方など、慣れずに苦勞している場面もありました。ボランティアの皆様からサポートしてもらいながら、頑張りました。

一生懸命に努力した成果が見られると、成就感と自信が生まれ、次への活動意欲が高まります。困難なことでも果敢に挑戦する子どもになってほしいと願っています。



転ばないようにふんばりました



心を一つに優勝目指して



慣れないミシンに四苦八苦

給食と感謝（1月25日～29日 給食週間）



1月25日（月）～29日（金）は、給食週間でした。正しいマナーで、好き嫌いなく食べることの大切さを確認し、自分の食事の仕方を振り返ったり、越五の国（上越市、妙高市、柏崎市、十日町市、佐渡市）の料理や特産物を知る良い機会となりました。日頃おいしい給食を作ってくださる調理員さんに感謝の気持ちを表す場でもあり、お世話になっていることを手紙に表したり、手作りメダルを渡したりした学級もありました。本当にいつもおいしい給食をありがとうございます。



2月4日には、『ありがとう給食会』を開き、日頃お世話になっている皆様に給食時に各教室へお招きして、感謝の気持ちを伝えました。学校運営協議会委員、主任児童委員、民生児童委員、PTA正副会長、松村新田見守り隊、図書館ボランティア、総合的な学習等の講師にご参加いただきました。「好きな人は誰ですか。」など、色々な質問が飛び交い、終始和やかな雰囲気の中、給食を味わっていただいたようです。

2月4日(木) 不審者対応 避難訓練

今年度3回目の避難訓練を実施しました。今回は、学校に不審者が進入した際の対応の仕方を訓練しました。事務室に不審者が侵入した想定で、放送により各学級は、不審者が教室に入らないようにバリケードを築く訓練をしました。机と椅子を上手に活用し、侵入を防ぎました。また、いざとなると声が出ないこともあるので、全員で「助けてー」と大きな声で言う訓練も行いました。その後、体育館で、下校時の不審者への対応について、教師による寸劇を見ました。不審者に遭遇した時の行動や家に帰ってからの行動についても勉強しました。上越警察署の山岸指導員から、避難の意義や心構えについてお話を聞きました。お話に、「はちみつじまん」に気を付けようと教えてくださいました。

は：話しかける。 ち：近づいて
みつ：見つめる じま：じっと待つ
そういう人がいたら、
ん：「ん、変だなあ」と思うこと。

今後も学校や家庭、地域ぐるみで声かけをして、みんなで子どもたちを守って行きましょう。



2月10日(水) 学校給食運営協議会

学校給食の調理業務が民間委託に移行して、3年になります。上越市教育委員会、委託業者（(有)かたおか）、PTA役員、学校職員が出席し、子どもたちにとって、より安全・安心な給食を実施できるよう話し合いました。

はじめに、委員の皆様は各教室で子どもたちと共に本校の給食を試食しました。

その後の協議会では、学校給食に関わって様々な角度から意見が出されました。

子どもの口に入る食べ物であり、学校給食は安全・安心が第一です。この安全・安心な給食が、多くの人の手によって維持されていることに感謝いたします。



協議会で調理の様子を視聴

<学校>

- 食事のマナーをしっかり身に付けるようにしていきたい。
- 給食の残量が多い。自分に必要な量を知り、残さず食べるように指導していく。
- 毎日のメニューが異なるように、毎日のように個別のアレルギー対応が必要である。調理員の皆さんには大変感謝している。

<(有)かたおか>

- アレルギー対応に万全を期している。安全安心な給食を提供するために、綿密な作業の徹底を図っている。

<PTA役員>

- マナーがあまり良くなかった。各家庭でも指導する必要があるし、学校でも厳しくお願いしたい。
- 学校給食は、薄味だと思っていたが、スープの味が大変良かった。薄くなく、よく味付けされていた。
- 給食の残量が気になった。しっかり盛りきるような配膳の仕方を心がけてほしい。

<市教育委員会>

- 安全な地場産の食材の利用に力を入れ、できる限り地産地消を心がけている。
- マナー指導の中で、箸の持ち方がなかなか上達していかない。学校や家庭で協力しながら指導していく必要がある。
- 春日新田小学校の給食数は、上越市で一番である。多くて大変であるが、今後とも異物混入がないよう気を付けていってほしい。

おしらせ

- 旧給食室を改築し、放課後児童クラブの工事を昨年から実施してきました。3月中旬には完成します。引っ越し等が終わり、体制が整ったら使用することになります。
- 校内版画展を2月29日(月)～3月9日(水)まで実施します。ぜひご覧ください。併せて3月8日(火)は最後の学習参観、PTA総会、学年学級懇談会があります。たくさんのご出席をお願いします。
- 昨年11月に、直江津中等教育学校の生徒から「子どもの服を集めて、必要な国へ送りたい」という依頼がありました。地域の皆様にもたくさんご協力いただき、目標50箱のところ、68箱集まりました。ありがとうございました。お礼のポスターが学校に届いています。ぜひご覧ください。



子どもたちの活躍



【平成27年度新潟県硬筆書き初め大会】

優秀団体賞 春日新田小学校

新潟県書道教育研究会賞 2年 土田 朋希

特選 2年 飯塚 紗彩

準特選 1年 四津谷舞歩 中嶋 妃菜 相澤凜太郎 杉本 萌衣
神田 凌我 長谷川朝菜 比見 心優 赤壁 美桜

【第61回青少年読書感想文全国コンクール】

優秀賞 1年 熊谷 和起 自由読書 「いのちをいただく」を読んで
4年 山崎 絢斗 課題読書 「ぼくはうちゅうじん」を読んで
優良賞 4年 四津谷茉梨 自由読書 ガメラ、わたる、ありがとう
佳作 6年 村山 心優 自由読書 セラピードッグを知って思ったこと

【平成27年度新潟県児童生徒絵画・版画コンクール】

絵画の部

特選 3年 齊藤裕太郎 荒井 祐海
4年 後藤 理穂
6年 土田 悠希 梨本奈々美 宮沢 勇人

版画の部

準村山賞 1年 赤壁 美桜

特選 1年 小山 颯太 中嶋 妃菜 齋藤 奈央 田角 芽衣
2年 秦 柚季 飯田 紗瑛
6年 川端 海輝 若杉優之介 大島 歩夢 阿部 来夢

【第46回県ジュニア展】

特賞 2年 渡邊 柁也

優秀賞 1年 室橋 結

奨励賞 1年 宇賀田七虹 笹木 優 岡森 巧海 中嶋 妃菜
丸山 璃人 瀧田 緋糸 関口 想

3年 増田 暁斗
4年 石戸珠莉也 大島 有貴

【第12回上越信金小学生版画展覧会】

金賞 4年 小栗 脩輔
5年 細谷 羽琉
6年 高山 涼花

【平成28年度上国連書写技能認定書き初め会】

特別賞 「三席」
6年 小林 楓河

2月19日
上越タイムス掲載



◇三席 小林楓河(春日新田小)
真の友情
小林 楓河